4 災害に備えた行動

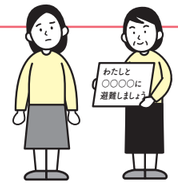
災害に合わせた行動を考えておこう!

地震の場合

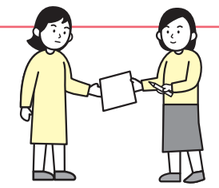
地震のように突然起こる災害は、まず自分の身の安全を確保することが何より大切です。
そのうえで、要配慮者の安否確認、避難支援、救助活動等を行いましょう。

さまざまな災害に備えて避難訓練をしてみよう

要配慮者や支援者はもちろん、できるだけ多くの地域の方に参加してもらうことで、新たな課題や見落としていた問題などが発見でき、いざというときの備えになります。右記のような災害情報の伝達や避難支援がうまくできるか試してみましょう。



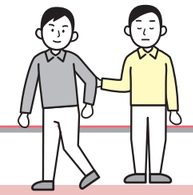
耳が不自由な方への情報伝達方法



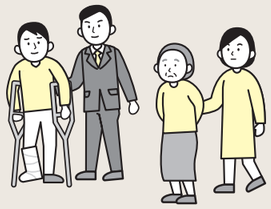
言語が不自由な方への情報確認方法

車いすの方の介助方法

目が不自由な方の誘導方法



地震発生

安全の確保	避難行動	避難所に到着	安否の確認	救助活動など
まずは自身の安全を確保しましょう。	避難しましょう。	避難所で心がけること。	要配慮者の安否を確認しましょう。	救助活動に協力しましょう。
				
自分の身の安全を守りましょう。	要配慮者の安否を確認し、一緒に避難しましょう。	要配慮者に思いやりを持って接しましょう。	個別避難計画の台帳などをもとに、避難所へ来ていない方の安否を確認しましょう。	安全に十分気をつけて、救助の手助けをしましょう。
	近隣の方たちの安否を確認しましょう。			